
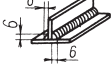

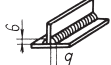



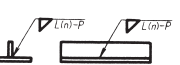

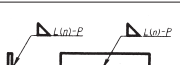
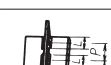
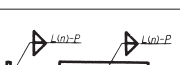

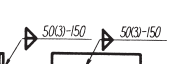







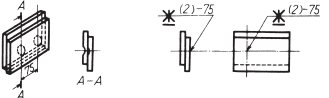
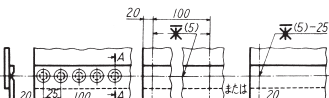
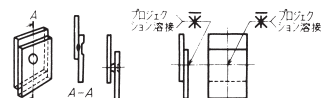
# 溶接記号

●JIS Z 3021(1987)より抜粋

I 形	記号	II	基線に対し90度に平行線を書く
溶接部	実形	記号表示	
矢の側 または 手前側			
矢の反対側 または 向こう側			
両側			
ルート間隔 2mmの場合			
ルート間隔 2mmの場合			
レ 形	記号	✓	垂直線とそれに45度に交わる直線として頭をそろえる
溶接部	実形	記号表示	
矢の側 または 手前側			
矢の反対側 または 向こう側			
T継手、 裏あて金使用 開先角度45度 ルート間隔 6.4mmの場合			
K 形	記号	K	レ形記号を基線に 対称に書く
溶接部	実形	記号表示	
両側			
矢の側 開先深さ16mm 開先角度45度 矢の反対側 開先深さ9mm 開先角度45度 ルート間隔2mm の場合			
T継手 開先深さ10mm 開先角度45度 ルート間隔2mm の場合			

フレアV形 フレアX形	記号		フレアV形は二つの1/4円を向かい合わせに書く フレアX形は二つの半円を向かい合わせに書く	
溶接部	実形	記号表示		
矢の側 または 手前側				
矢の反対側 または 向こう側				
両側				
フレアレ形 フレアK形	記号		フレアレ形は直線と1/4円を書く フレアK形は直線と半円を書く	
溶接部	実形	記号表示		
矢の側 または 手前側				
矢の反対側 または 向こう側				
両側				
すみ肉溶接	連続 (1)	記号		直角二等辺三角形を書く
溶接部	実形	記号表示		
矢の側 または 手前側				
矢の反対側 または 向こう側				
両側				
脚長6mmの 場合				
不等脚の場合、 小さい脚の寸法を先に、 大きい脚を後に書き、 かっこでくくる				断面の表示が可能な場合は不等脚の方向がわかるように記入する
溶接長さ 500mmの場合				

すみ肉溶接	連続 (2)	記号		直角二等辺三角形を書く
溶接部	実形		記号表示	
両側脚長 6mmの場合				
両側脚長の異なる場合				
すみ肉溶接	断続	記号	並列	直角二等辺三角形でL(溶接長さ)、n(溶接数)、P(ピッチ)を記入する
			千鳥	両側のすみ肉が等しい場合は  の記号を用いてもよい
溶接部	実形		記号表示	
矢の側または手前側				
矢の反対側または向こう側				
両側				
並列溶接 溶接長さ50mm 溶接数3 ピッチ150mm の場合				
千鳥溶接 手前側脚長6mm 向こう側脚長9mm 溶接長さ50mm 溶接数 矢の側2 矢の反対側2 ピッチ300mm の場合				
千鳥溶接 両側脚長6mm 溶接長さ50mm 溶接数 矢の側3 矢の反対側2 ピッチ300mm の場合				

溶接部	実形	記号表示
スポット、 プロジェクション		基線に90度にかかる直線を書き、これに45度にかかる2本の直線を書く
スポット溶接	矢の側または手前側に面がたいらな電極を用いる場合 ピッチ75mm 点数2	
スポット溶接	矢の反対側または向こう側に面がたいらな電極を用いる場合 ピッチ25mm 点数5	
プロジェクション溶接	矢の側または手前側	
プロジェクション溶接	矢の反対側または向こう側	